

S U B A R U

エコアクション21

環境経営レポート

2023 年度

対象期間 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

発行日 2024 年 5 月 31 日

福井南スバル自動車株式会社

【目次】

	ページ
1. 会社概要	3
2. 環境経営方針	4
3. 環境経営目標	5
4. 主要な環境経営計画の内容	6
5. 環境経営活動の取組結果と評価、次年度の取り組み	7
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	8
7. E A 2 1 推進組織図	9
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	10



【1】 会社概要

(1) 事業所名

福井南スバル自動車株式会社

(2) 所在地

〒914-0125 福井県敦賀市若葉町 2 丁目 1759 番地

(3) 代表者氏名

代表取締役社長 岡田 智

(4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 推進課係長 大久保 千果
EA21 推進事務局 推進課 川田 衣里
担当者(環境管理副責任者) 店長 山田 兼三
連絡先 TEL 0770-25-5050 FAX 0770-25-5120

(5) 事業の内容

1. 新車の販売
2. 中古車の販売
3. 前各号に関する部品・用品の販売及び修理
4. 自動車の修理・整備
5. 損害保険代理業

(6) 事業の規模

- ・ 新車販売台数 200 台 (2023 年度)
- ・ 中古車販売台数 103 台 (2023 年度)
- ・ 従業員数(派遣・パート含む) 14 人(2023 年 4 月現在)
- ・ 店舗数 1 (2023 年度)

(7) E A 2 1 認証登録範囲

- ・ 福井南スバル自動車株式会社
新車・中古車の販売、自動車部品・用品の販売、自動車の修理・整備、
損害保険代理業

【2】環境経営方針

環境経営方針

《基本理念》

私たちの住むまちは、古くから日本海中心の貿易港として栄え、海、山、川などの自然豊かな環境にあります。そのような環境の中、弊社は自動車販売・整備・自動車保険業務に携わる事業者として地域及び次世代の環境に及ぼす影響を常に考え、住み良い地域にあらゆる面で環境保全に配慮して行動します。

《基本方針》

この理念のもと、当社が行う自動車及び部品販売、整備、修理、保険業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 事業活動の全領域で、省資源、省エネルギー（CO2 削減を含む）、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行います。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスが継続的に改善できるように推進します。
3. 適用する環境関連の法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 特に次の環境保全の重要項目に対して、環境目標を設定し取り組み、必要があれば見直しを行います。
 - ① 省エネルギーの推進（電力使用量、燃料使用量）
 - ② 省資源(水使用量、紙使用量)
 - ③ 廃棄物の排出抑制と適正処理（一般廃棄物及び産業廃棄物排出量削減）
 - ④ 化学物質管理の強化（PRTR 法関連、VOC 対策）
 - ⑤ 会社周辺の清掃を積極的に行い、地域の環境改善に貢献する
 - ⑥ 環境対応事業の拡販（環境対応対策車の販売促進・車検整備、法定点検の入庫促進）
5. この環境経営方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。

宣言 令和3年8月1日
福井南スバル自動車株式会社
代表取締役 岡田 智

【3】環境経営目標

SDGs の 3 すべての人に健康と福祉を

- ・アイサイト（ブレーキサポート）装備車の拡販により死亡事故を減らす取り組みを推進します

SDGs の 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

- ・既販車の適切なメンテナンスを通じて資源の有効活用を推進します

SDGs の 8 働きがいも経済成長も

- ・誰もがいきいきと働ける職場環境の整備します

SDGs の 10 人や国の不平等をなくそう

- ・来店しやすい店舗づくりを推進し地域社会と共生を目指します

環境経営目標（2023 年～2025 年）

基準年(2022 年度)をもとに下表のように目標を設定しました。

項目		単位	2023 年度	2024 年度	2025 年度
電気使用量 (削減率)		kWh	107646 1%	106558 2%	105471 3%
燃 料	ガソリン	L	12674	12546	12418
	軽油	L	2870	2841	2812
	灯油	L	481	476	471
	L P G	kg	0	0	0
	(削減率)		1%	2%	3%
二酸化炭素排出量 (削減率)		kg-CO ₂	88494 1%	87600 2%	86706 3%
エコカーの販売		台	事業計画に基ずく	事業計画に基ずく	事業計画に基ずく
車検整備		台	事業計画に基ずく	事業計画に基ずく	事業計画に基ずく
法定点検		台	事業計画に基ずく	事業計画に基ずく	事業計画に基ずく
水使用量(井戸・水道) 削減		m ³	節水に努める	節水に努める	節水に努める
廃棄物(産廃・一廃) 削減		t	22.3 1%	22 2%	21.8 3%
紙(コピー紙)使用量 削減		枚	削減に努める	削減に努める	削減に努める
化学物質(フロン)リサイクル 使用量		kg	適正管理する	適正管理する	適正管理する

【4】 主要な環境経営計画の内容と取組評価

	取組評価
(1) 目標を達成するための取組	
①電気使用量削減	○
(1) 室内照明の消灯管理	○
(2) 広告灯、外灯の消灯管理	○
(3) ショールームエアコン換気と温度管理	
②燃料使用量削減	
(1) 自動車の運転は、環境確保条例に定める「アイドリングストップ」を順守する。	○
(2) 営業活動における顧客訪問時には、効率の良い訪問コースを設定して取り組む。	○
(3) エコドライブ5ヶ条を守る。	○
③水使用量削減	○
(1) 水の使用は、必要な量を必要な時間だけ流し、流量・時間に十分注意して使う。	
(2) 漏れが止まらない場合や、水道管が破裂して場合は、速やかに管理担当者に連絡し修復する。	△
④廃棄物量削減	△
(1) クーラント復活剤によるクーラント削減に取り組む。	○
(2) 廃油はリサイクル、プラスチックはメーカーでリサイクルを推奨する。	
⑤紙使用量削減	
(1) 通知資料等は回覧や掲示板を活用し、コピー量を減らす。	○
(2) 社内LANや電子メールの活用によりペーパーレス化を図る。	○
(3) コピーは原則的に両面とする。	○
(4) アプリ「マイスバル」やインスタグラムを使ったオンラインの活用で紙を削減する。	○
⑥環境対応事業の拡販	
(1) アイサイト（ブレーキサポート）装着車の販売促進	△
(2) 車検整備・法定点検入庫促進	○
(2) その他の取組	
①環境関連法の遵守・法規制、社内基準の遵守。	○
②社会貢献環境保全活動の推進・会社周辺の清掃活動を週1で取り組む。	○
③来店しやすい店舗づくり、職場環境の整備	○

【5】環境活動の取組結果と評価、次年度の取り組み

(1)数値実績 2023 年 4 月～2024 年 3 月までの実績

項目	単位	基準年度 (2022 年度)	2023 年度			
			削減目標	年間目標 2023 年 4 月～ 2024 年 3 月	実績 2023 年 4 月～ 2024 年 3 月	判定
電気使用量	kWh	108733	1%	107646	93398	○
燃 料	ガソリン	L	12802	12674	11568	○
	軽油	L	2899	2870	3280	×
	灯油	L	486	481	344	○
	L P G	kg	0	0	0	○
二酸化炭素排出量	kg-CO2	89388	1%	88494	79959	○
エコカーの販売	台	234	287		200	×
車検整備	台	641	610		611	○
法定点検	台	510	495		551	○
水使用量(井戸・水道)	m ³	4187	削減に努める		4751	—
廃棄物排出量	t	19.2	19		21.0	×
産業廃棄物 一般廃棄物		3.3	3.2		3.1	○
紙(コピー紙)使用量	枚	105000	削減に努める		93000	—
化学物質エチレン glycol 使用量	kg	0	適正管理する		226	—

※二酸化炭素排出係数 0.469 kg-co2/kwh

(1) 数値目標を達成するための取組結果

① 電気使用量減少

スタッフの意識（事務所の小まめな消灯等）が高まったため

② 燃料使用量

ガソリン減少・・・社員数が減ったことと、納車時の給油量を見直したため

軽油増加・・・遠距離納車でキャリアカーの使用が多かった

灯油減少・・・暖冬でストーブの使用が少なかった

③ 環境対応対策車の販売促進

生スバルの工場が止る事が多く、長納期の影響によりキャンセルも出たため

④ 廃棄物排出量の増加・・・混廃が多かったのと LLC の排出があったため

(3) 次年度の取り組み

- ・こまめな節電、節水の継続
- ・ショールームのエアコン換気と温度管理
- ・エコドライブ継続・効率の良い訪問
- ・ごみ分別の細分化
- ・アイサイト装着車の販売促進（直接販売の強化）、定期点検の入庫促進
- ・来店しやすい店舗づくり、職場環境の整備
- ・モバイルを使った手続きの推進
- ・遠距離登録納車は行政書士への依頼とキャリアカーのバランスを考える
- ・定休日前に水の元栓を閉める

【6】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

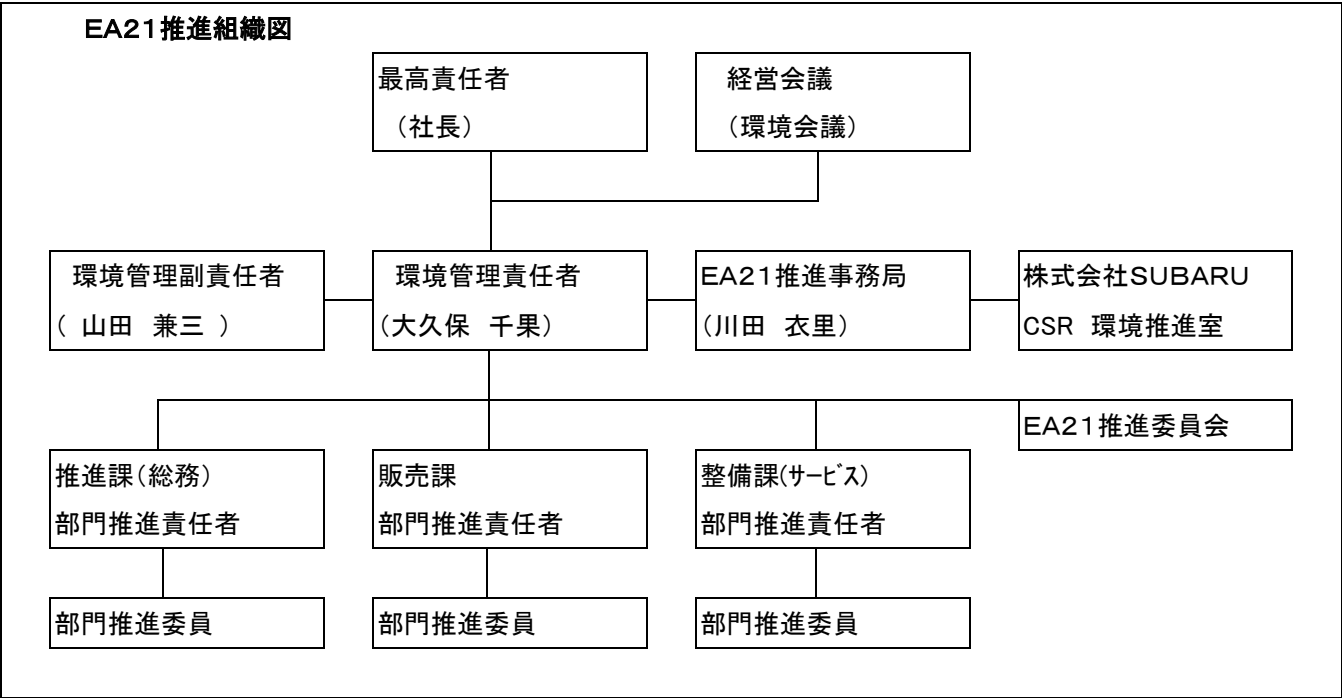
(1)適用される主な環境法規等

主な適用法規	要求事項
騒音規制法	規制基準の遵守
振動規制法	規制基準の遵守
悪臭防止法	規制基準の遵守
下水道法	規制基準の遵守
廃棄物処理法	保管基準、委託基準の遵守、許可業者への処理委託、適正な委託契約の実施、マニフェストの適正運用管理、マニフェスト交付状況の年度報告
消防法 敦賀美方消防組合火災予防条例	貯蔵数量の遵守、定期の消防設備点検・報告、火災発生時の緊急連絡
自動車リサイクル法	業者登録、使用済自動車の適正処理
敦賀市環境保全条例	公害防止担当者、事故（発生時）の届出等
フロン排出抑制法	エアコンの3ヶ月ごとの簡易点検
水質汚濁防止法	特定施設の届出

(2)違反、訴訟等の有無

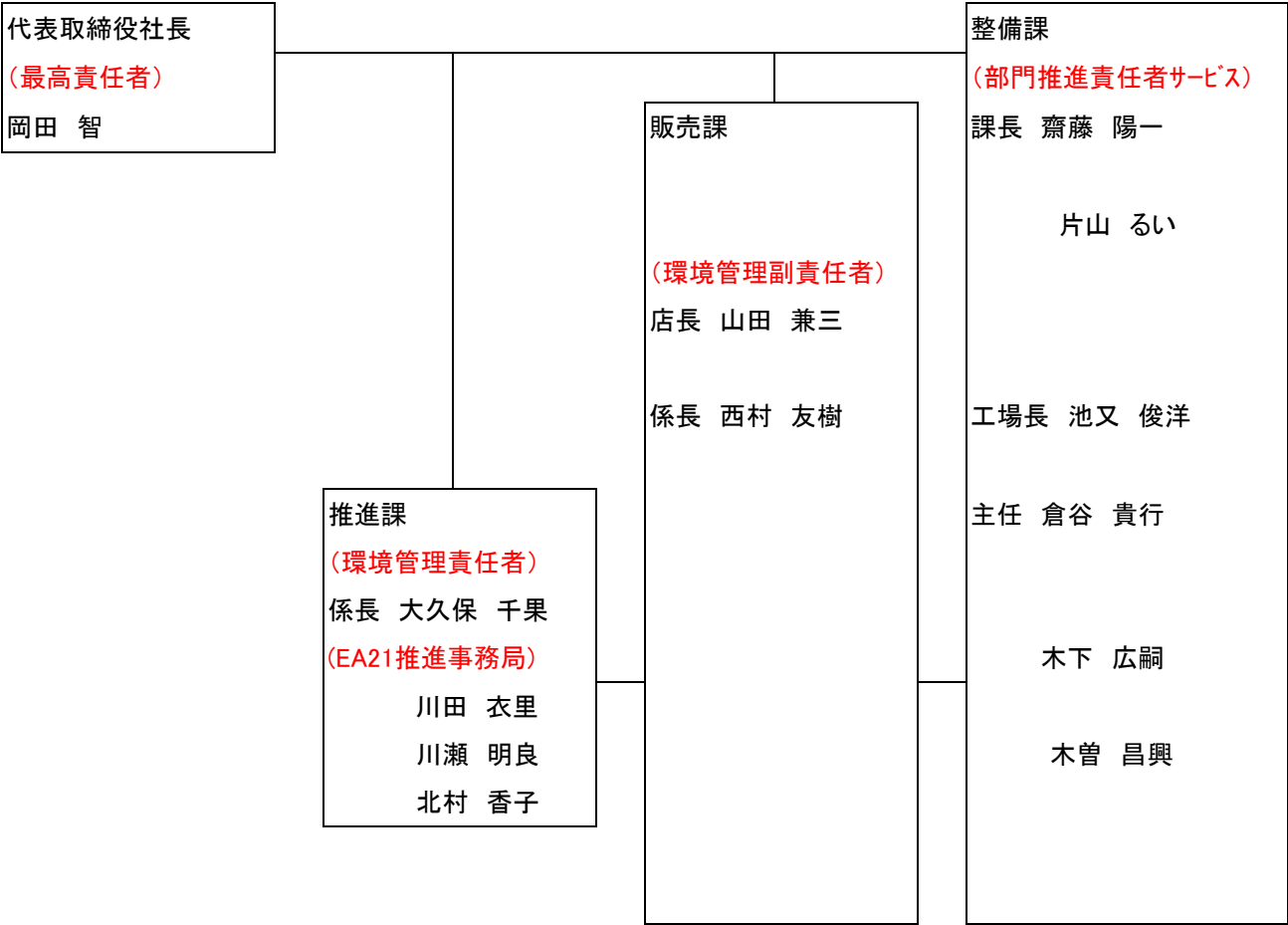
当社における環境関連法規等への違反はありません。遵守できました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

【 7 】 EA21 推進組織図



福井南スバル自動車株式会社 組織図 2024/5/1

(EA21 推進組織図)



【8】代表者による全体評価と見直しの結果

- ① 環境経営計画の実施状況及び環境経営目標の達成状況
事務所の小まめな消灯等スタッフの意識が高まってきた。社員数減少と納車時の給油量見直しでガソリン使用料はクリアした
- ② 苦情を含む社外の利害関係者からの受付結果
苦情はありませんでした。
- ③ 環境法規制、その他の要求事項の遵守状況
遵守できている。
- ④ 当社に関係する環境法規制、条例等の変化・変更の状況
特に変更ありません
- ⑤ 是正処置、予防処置の結果又は取組状況
生産の停止があり直接販売が苦戦している。業者販売では、キャリアカーでの遠方登録納車が増え、軽油燃料が増加した。今後は直接販売を強化し、遠方登録納車は行政書士への依頼とキャリアカーのバランスを考える。水使用量増加については定休日前に元栓を閉めて様子を見る。
- ⑥ 環境経営方針、環境経営目標及び計画、実施体制の見直しの必要性
見直しの必要はありません。

以上より下記のように総括する。

新車価格の高騰や人口減少、若者の車離れ等、自動車業界を取り巻く環境は依然厳しい状況下であるが、スバルの持つアイサイトを武器に安心安全、2030年までに死亡事故をゼロにする活動を徹底し、メーカー・ディーラー共に生き残りをかけていく。全国44社のディーラーの中で弊社はいち早くSDGsに取り組んだが、浸透性は良いとは言えず、もう少し深掘りしながら地域活性化に繋げていきたい。これから来るであろう、スバルとしてはかなり遅い取り組みになったPHEVやBEVについてもマーケットの様子を察知しながら広めていきたい。